

# のっく & WALK

in 甘楽町

— 群馬の水辺を巡る —



雄川堰遊歩道

雄川堰遊歩道  
ある景観を形づくっています。  
ほべたんは、せせらぎが心地いい雄川堰沿いの遊歩道をつくって。見つけたのは水辺に降りる階段です。野菜

もに、小幡の風情や古い町並みと戦国武将が町を練り歩き、いつもは静かな町が観光客でにぎわっています。満開の桜とともに歴史がよみがえるこの季節、小幡の清らかな水の風景を訪ねてみませんか。



武者行列



春の楽山園



第39回城下町小幡さくら祭り武者行列  
開催日: 2026年4月5日(日)  
場所: 楽山園~桜並木~甘楽総合公園  
「お祭り広場」

※次回ののっく & WALKはお休みします。

## 城下町を潤す「雄川堰」

南に稻含山や熊倉山など町を囲む山々、西から北には遠く妙義・榛名・赤城の上毛三山を望む甘楽町。その中心に位置する小幡地区は、1615年、戦国武将・織田信長の次男である信雄が藩主となつてから、8代にわたり織田家が治めた城下町です。当時の武家屋敷や石垣が今も残るこの町に、さらさらと澄んだ水音を響かせるのが「雄川堰」。飲み水や生活用水、農業用水として、古くから人々の暮らしを支えてきた水路です。



武家屋敷地区を歩くほべたん

や農機具を洗う「洗い場」で、40ヶ所以上もあるそう。上流に進むと、下流から三番口、二番口、一番口と3つの取水口が現れます。ここから水は「小堰」とよばれる細い水路に分けられ、陣屋や武家屋敷にくまなく配られたあと、再び雄川に戻されていました。武家屋敷地区を歩けば、路地の脇や生垣の間を流れる、いく筋もの小堰に出会えます。その水は、織田信雄が陣屋の庭園として築いた「楽山園」をはじめ、各屋敷の庭にも引きこまれて池泉となり、今も訪れる人の目を楽しませています。

毎年春、小幡では桜咲く城下町を舞台に「武者行列」が行われます。織田信雄に扮する馬上の大將を先頭に、鎧兜を身につけた戦国武将が町を練り歩き、いつもは静かな町が観光客でにぎわっています。満開の桜とともに歴史がよみがえるこの季節、小幡の清らかな水の風景を訪ねてみませんか。

## 編集だより

人気の「甘楽町産地粉ピザ」を目当てに、駅内のフードコートへ。甘楽町の姉妹都市・イタリアのチエルタルド市で研修を受けた職人が、石窯で一枚一枚焼いているそう。選んだのは「轟みそピザ」。轟地域の伝統味噌に下仁田ネギの組み合わせが絶妙で、粉の風味豊かな生地との相性も抜群！べろりと完食しました。



道の駅甘楽  
住所…甘楽郡甘楽町大字小幡444-1  
TEL…0274-74-5445  
営業時間…フードコート  
ピザ/ 10:30~16:30LO  
ソフトクリームなど/ 9:00~18:00  
その他施設により異なる  
定休日…元旦・2月第1火曜・6月第4火曜  
※「轟みそピザ」の具は、冬季以外は長ネギになります

※掲載した店舗・施設は、定休日以外に臨時休業となる場合もあるので、ご了承ください。  
※一部取材先より画像をお借りしています。